## 2. 有権者の投票行動

問1 あなたは11月14日に行われた**佐久市総合文化会館の建設の賛否を問う住民投票** で投票しましたか。<u>一つ選んで</u>〇を付けてください。

- 124774	<u> </u>		
	【旧佐久市】		%
1	投票した(期日前・不在者投票を含む)	590	74.8
2	投票しなかった	197	25.0
99	無回答	2	0.3
	合計	789	100.0
	【臼田·浅科·望月】		%
1	【臼田・浅科・望月】 投票した(期日前・不在者投票を含む)	564	% 74.7
1 2		564 191	
1 2 99	投票した(期日前・不在者投票を含む)		74.7
_	投票した(期日前・不在者投票を含む) 投票しなかった	191	74.7 25.3

問2 <u>問1で「1. 投票した」と答えた方にお聞きします</u>。住民投票では、どちらの選択肢に投票しましたか。さしつかえなければ、<u>一つ選んで</u>〇を付けてください。

		1 = 10 · 1 · 1 · 1 · 1 · 1 · 1 · 1 · 1 · 1		
		【旧佐久市】		%
1	(建設に)賛成		175	22.2
2	(建設に)反対		411	52.1
	非該当		199	25.2
99	無回答		4	0.5
	合計		789	100.0
		【臼田·浅科·望月】		%
1	(建設に)賛成		104	13.8
2	(建設に)反対		455	60.3
	非該当		191	25.3
99	無回答		5	0.7
	合計		755	100.0

# 投票参加に関して

- ・ 実際の投票率に比べると、投票に行った人の割合は20ポイントほど高くなっているが、この種の調査では、元々関心の低い方から回答を得るのは簡単なことではないので、上記の数字は許容範囲と言える。
- ・ 地域別や年代別の投票率に関しては、佐久市のウェブサイトでも公開されているが (参照: http://www.city.saku.nagano.jp/cms/html/entry/3818/130.html)、 実際の住民投票と同様に、地域別の投票参加の割合については、本調査においても目立った差は見られない。また、年代別で見ると、通常の選挙で広く見られるのと同様に、若い人ほど「投票した」という割合は低く、年齢とともにその割合

は上昇する。

#### 賛否の行動に関して

- ・ 実際の住民投票においては反対票が有効投票の約7割を占めたが、本調査でも旧佐久市、旧町村部ともに、反対票を投じた人の割合が賛成に投票した人を大きく上回っている。他方、投票先を答えた人の中で賛成者の割合に着目すると、旧町村部では賛成の割合が2割弱にとどまるのに対し、旧佐久市では約3割となっており、若干の差ではあるが、旧町村部よりも旧佐久市内のほうが、賛成者の割合は相対的に高い。
- ・ 年代別で見ると、旧佐久市では20代、30代、50代で反対者の割合が75% を超えており、逆に40代、60代、70代では賛成者の割合が3割を超える結果となっている。一方、旧町村部では、どの年代でも反対票を投じた人の割合が8割前後に達しており、年齢層による明確な差異は確認できない。
- ・ 地区別のデータに着目すると、旧佐久市内では、浅間、野沢、東の各地区では反対者の割合はいずれも65%前後であるのに対し、中込地区だけは反対が約84%と他の地区に比べてやや突出している。この点については、中込地区に特有の何らかの要因が影響しているのかどうか、今後さらに検証を試みたい。
- ・ また、旧町村部に関しては、浅科、望月の両地区で反対者の割合が75%前後に上るが、臼田地区ではその数字をさらに上回り、反対の割合は9割近くに達している。これについてはやはり、総合文化会館が仮に建設された場合に、臼田地区にあるコスモホールの運営が苦しくなることなどへの懸念が、臼田地区の住民の間で特に強かったものと思われる。

# 3. 賛否の投票理由

	—————————————————————————————————————	
<u>また、その選択版に投票した理由も具体的にの間がせてたるい。</u> 【旧佐久市/賛成】	※自由回答形式	%
文化や芸術の振興・発展のために必要だから	56	32.0
地域の活性化が期待できる	34	19.4
都市規模に見合う文化施設が必要だから	33	18.9
立地条件が良い	22	12.6
以前からの計画だから	13	7.4
今が建設すべき時期だから	13	7.4
その他	23	13.1
無回答	37	21.1
合計	175	100.0
【臼田·浅科·望月/賛成】		%
都市規模に見合う文化施設が必要だから	25	24.0
文化や芸術の振興・発展のために必要だから	24	23.1
地域の活性化が期待できる	17	16.3
立地条件が良い	8	7.7
以前からの計画だから	7	6.7
今が建設すべき時期だから	7	6.7
その他	9	8.7
無回答	28	26.9
合計	104	100.0
「旧作力士ノ反対」		%
【旧佐久市/反対】 建設費や維持管理費の負担が大きいから	164	39.9
建設負や維持官珪負の負担が入さいから 既存の類似施設を活用すべき	92	39.9 22.4
成件の類似他設を活用すべる 他にもっと優先すべき課題があるから	92 60	22. <del>4</del> 14.6
建設しても有効活用が見込めない	49	11.9
建設しても有効活用が見込めない 地域や国の経済・財政状況が良くないから	49 48	11.9
建設計画の内容や過程に不満がある	26	6.3
定設計画の内容で過程に作過かめる その他	26	6.3
無回答	67	0.3 16.3
無凹音 合計	411	100.0
日前	411	100.0
【臼田·浅科·望月/反対】		%
建設費や維持管理費の負担が大きいから	163	35.8
既存の類似施設を活用すべき	123	27.0
建設しても有効活用が見込めない	52	11.4
地域や国の経済・財政状況が良くないから	49	10.8
他にもっと優先すべき課題があるから	38	8.4
建設計画の内容や過程に不満がある	16	3.5
その他	30	6.6
無回答	90	19.8
合計	455	100.0

賛成理由に関しては、旧佐久市と旧町村部で回答数を合計すると、「文化や芸術の振興・発展に必要だから」とする意見が最も多く、他方、回答数は少ないため参考程度にとどめておく必要があるものの、旧町村部に限ると、「都市規模に見合う文化施設が必要だから」が最多となっている。また、「地域の活性化が期待できる」とする意見も多い。

反対理由に関しては、旧佐久市、旧町村部ともに「建設費や維持管理費の負担が大きいから」との意見が最も多く、反対票を投じた人の4割弱に達している。他の理由と合わせて考慮しても、総合文化会館の建設をめぐる問題については、財政負担の観点を最も重視し建設に反対した市民がやはり多かったと言える。

## 4. 住民投票における棄権の理由

問3 <u>問1で「2. 投票しなかった」と答えた方にお聞きします</u>。あなたが投票しなかったのは、どのような理由からですか。次の中から、<u>あてはまるもの全て</u>に〇を付けてください。

	17 (7):20	, 0
【旧佐久市】		%
用事・仕事があったから	79	40.1
健康上の理由から	30	15.2
投票に行くのが面倒だったから	20	10.2
総合文化会館をめぐる問題に関心がなかったから	42	21.3
どちらに投票したらよいか判断に迷ったから	37	18.8
自分一人が投票してもしなくても同じだから	10	5.1
住民投票があることを知らなかったから	3	1.5
その他	27	13.7
無回答	0	0.0
	197	100.0
— ··		
		%
用事・仕事があったから	77	40.3
健康上の理由から	26	13.6
健康上の理由から 投票に行くのが面倒だったから	26 11	13.6 5.8
投票に行くのが面倒だったから 総合文化会館をめぐる問題に関心がなかったから	11 34	5.8 17.8
投票に行くのが面倒だったから 総合文化会館をめぐる問題に関心がなかったから どちらに投票したらよいか判断に迷ったから	11	5.8 17.8 22.0
投票に行くのが面倒だったから 総合文化会館をめぐる問題に関心がなかったから どちらに投票したらよいか判断に迷ったから 自分一人が投票してもしなくても同じだから	11 34 42	5.8 17.8
投票に行くのが面倒だったから 総合文化会館をめぐる問題に関心がなかったから どちらに投票したらよいか判断に迷ったから 自分一人が投票してもしなくても同じだから 住民投票があることを知らなかったから	11 34 42 10 12	5.8 17.8 22.0 5.2 6.3
投票に行くのが面倒だったから 総合文化会館をめぐる問題に関心がなかったから どちらに投票したらよいか判断に迷ったから 自分一人が投票してもしなくても同じだから	11 34 42 10	5.8 17.8 22.0 5.2

投票しなかった理由に関しては、いずれの地域においても「用事・仕事があったから」との回答が最も多いが、「投票に行くのが面倒だったから」「総合文化会館をめぐる問題に関心がなかったから」といった無関心による棄権に加え、「どちらに投票したらよいか判断に迷ったから」とする回答も棄権した人の2割前後に上っている。また、「その他」の回答の中には、「住民投票の実施自体に反対」といった意見も両地域でそれぞれ十数件ずつ見られたことから、「投票実施に疑問を感じていた」などの選択肢も問3では提示すべきであったと思われる。

いずれにせよ、佐久市の住民投票を棄権した有権者には、用事や仕事、あるいは健康 上の理由などにより物理的に投票に行けなかった人や、無関心による棄権に加え、判断 に迷った末に棄権した人や、データとして必ずしも明確には表れていないものの、住民 投票の実施に対する反発から棄権した人も少なからずいたと考えられる。したがって、 住民投票の投票率(54.87%)が、そのまま単純に市民の関心度を表していると考 えるのは早急であり、実際には棄権した人も含めて、総合文化会館をめぐる問題に対し ての市民全体の関心は概ね高かったと言えそうである。